

## 高校の学校祭に高機動車が登場！



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、6月3日（土）、浜松日体高等学校（浜松市東区）の学校祭「第55回日体祭」において、第34普通科連隊（板妻駐屯地）と募集相談員の協力のもと広報活動を行った。

昨年、初めて同校学校祭において実施した静岡地本の広報ブースが好評を博し、2回目の参加となった。今年の学校祭は「百花斉放」をテーマに、演劇・ダンス発表、吹奏楽の演奏、書道部によるパフオーマンズの他、文化部による作品展等多彩な催しが行われ、生徒及びその家族や地域住民等、多くの来場者で賑わった。

静岡地本は、「魅せる広報」をテーマに広報展示ブースを開設し、第34普通科連隊が保有する高機動車及び自衛隊の訓練風景のパネル展示、広報DVD上映の他、缶バッジ制作体験や迷彩服の試着体験等を行った。特に自衛隊気分を体験できる迷彩服の試着体験は高機動車をバックに記念写真を撮ろうと大人気となり、生徒や多くの来場者が長い列を作っていた。

また、静岡地本マスケットキャラクターの「しずぽん」が登場すると、校内の注目を一身に集め、記念写真の人だかりが出来る程であった。

静岡地本は、今後もこのような学生等に直接伝えられる機会を通じて自衛隊の任務や活動内容に理解を深めてもらい、多くの若者が自衛隊を志願してくれるよう努めていく。

## 防衛大学校生の家族が激励会を実施



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、6月4日（日）と5日（月）、神奈川県横須賀市内において、防衛大学校静岡県家族会が実施した「新入生・在校生激励会」に協力した。これは、今春防衛大学校に入学した学生への激励と、他学年の学生や家族間の交流を目的に実施され、県内出身の学生とその家族等約100人が参加した。

激励会は横須賀市の観音崎京急ホテルで行われ、長沢一幸家族会長の挨拶から始まり、在校生が入学後に経験してきた様々な話を織り交ぜながら自己紹介をして会を盛り上げたほか、新入生はこの2カ月を振り返り家族に自身の成長した姿を披露した。

防衛大学校出身である根本本部長は、挨拶で幹部自衛官としての心構えやあるべき姿等を話し、これからの日本の防衛の中枢を担う学生達を激励した。

また、翌日は防衛大学校を訪問し、校内の施設や課業行進の見学、指導教官との面談を行うとともに、同市内にある海上自衛隊第2術科学校も併せて見学した。

参加した家族は「元気に過ごす姿を見て安心した。防衛大学校に入学させて本当に良かった」と話していた。

静岡地本は、今後も各協力団体との連携を強化し、このような現場を確認・見学する取り組みを通じて隊員と家族の架け橋となり親身なサポートを引き続き実施していく。